

D2630 郡上長良川ロータリークラブ

よいことのために

手を取りあおう

RI会長メッセージ

2025.7~2026.6 会長：佐藤備子 副会長：大村太郎 幹事：清水英志

第48期クラブメッセージ

「輪と和」 輪を広げよう 和やかに

例会日：毎週水曜日 18：30~（6-9月末 19：00~）
 例会場及び事務所：白鳥町農業指導研修センター 2F
 TEL：0575-82-3822 FAX：0575-82-5191
 E-mail：gsrca@abelia.ocn.ne.jp
 発行：クラブ会報委員会

第2216回 令和7年11月19日(水)

本日の行事 郡上青年会議所との合同例会

2025-26年度

佐藤備子会長

* 例会変更 関、美濃、加賀中央、美濃加茂 RC

幹事報告

清水英志幹事

* 岐阜県環境エネルギー生活部より

* 米山奨学会より ハイライトよねやま 308

人権習慣啓発ポスター掲示のお願い

第2215例会報告

■会長挨拶

2025-26年度 佐藤備子会長

皆さん、こんばんは。今回は職場例会で、東田先生にお世話になり、コスモス苑さんを見学させていただきました。はじめに充子先生から、特別養護老人ホームを立ち上げられた経緯や想いをお聞きました。寝たきりのお年寄りの往診を続けてこられたご経験から、介護保険制度の導入により、公的な支援を受けながら、高齢者が専門的なケアを受けつつ安心して生活できる環境を整えてられました。介護は、誰もがいずれ直面する課題です。充子先生の思いを伺い、そして日々支えておられる職員の皆さんの姿に、心から頭が下がる思いでした。

さて、その週末の土、日曜日には、桑名で地区大会が開催されました。郡上長良川ロータリークラブからは12名が参加しました。年に一度の「お祭り」のような行事で、一日目は各種表彰式のあと、交換留学生や米山奨学生、インターアクト・ローターアクトの代表など、若い世代のスピーチを聞くことができました。それぞれの立場で一所懸命話す姿がとても印象的でした。

その後には、愛工大名電高校吹奏楽部による演奏がありましたが、これが本当に素晴らしかったです。プロ顔負けの演奏で、私たちの世代にもなじみ深い演歌メドレーや「アフリカン・シンフォニー」など、会場が一体になって盛り上がりました。指導者であり指揮をされた先生が桑名出身とのことで、最後は名電高校の演奏に合わせて、皆で「手に手つないで」を歌いました。

晩餐会は会場をホテル花水木に移して行われました。玉野ガバナーは着物姿で登壇され、「りんごちゃん」のオンステージの後には、なんとご自身も衣装を変えてステージに立たれ、会場全体を巻き込んで大いに盛り上がりました。

二日目は、「ブラタモリ」ならぬ「ブラタマノ」と題して、桑名の名勝を紹介する映像から始まり、その流れでガバナーが登場されるという演出で、アイデア満載の地区大会でした。最後、基調講演は、公共イメージコーディネーター、七尾ロータリークラブ所属の神野正弘さん。私たち自身がロータリーをよく理解し、その素晴らしさや魅力を自分の言葉で発信していくこと——つまり「会員一人ひとりがロータリーの広報マンになろう」というお話でした。

神野さんご自身のストーリーも印象的で、医師として耐震性に優れた病院を建設されたこと、そして東日本大震災の際には物資を届けられたことなど、ロータリアンとしての実践を通じて“共感されるストーリーを伝えることの大切さ”を語られました。

本日のお書は、「閑座聴松風（かんざして まつかぜをきく）」です。「静かに座って松をわたる風の音を聞く」という意味です。お茶では、11月は「炉開き」の季節です。それまで使っていた風炉を片付け、畳の炉を開けます。炭を入れ、釜をかけてお湯を沸かすと、「ヒュー」という何とも言えない柔らかな音が聞こえてきます。これを「松風の音」と呼びます。同時に、初夏に摘まれた新茶を詰めた茶壺の封を切り、新しいお茶を使い始める「口切の茶」もこの時期に行われます。一年の中でも特に大切なお茶事、「お茶のお正月」とも呼ばれ、ぜひをいただいて、新茶を味わいます。本日の花は「つわぶき」です。

■クラブアッセンブリー「50周年記念事業について」

実行委員長 石徹白秀也君

○50周年事業開催の目的

1. 関係者への感謝の表明

関係者（2630 地区や東海北陸道 G 各クラブ、姉妹や友好クラブ、クラブメンバーとその家族等）への感謝の気持ちを表明することです。感謝の意を示す場を提供することで、お互いのつながりを深めることができますし、関係者に対する感謝の気持ちを具体的に形にすることで、パートナーシップや信頼関係を築く手助けとなります。

2. クラブイメージの向上

周年事業はクラブのイメージを向上させるための重要な手段であり、クラブの価値や取り組みをアピールする場であり、クラブの価値向上の有効なプロモーションツールでもあります。

3. コミュニケーションの促進

関係者とのコミュニケーションを活性化・促進させます。記念事業や記念式典を通じて、関係者同士が交流し、新たなつながりや奉仕の機会を生み出すことができます。

4. 成果の振り返りと成長の確認

過去の成果や成長を振り返り、新たな目標への意欲を養う場があります。また、これまでの努力と成長を再確認することができ、関係者のモチベーションや誇りを高めることができます。

5. クラブの結束とチームビルディング

記念事業や記念式典を通じて、クラブメンバーの交流やコラボレーションの機会を提供し、それによりクラブの一体感を醸成することができます。また、共通の目標や価値観を共有することで、クラブの文化形成にもつながります。それがクラブメンバーの士気やパフォーマンスの向上にも関わります。周年事業は、クラブの結束を深めるための大切なツールとなります。

○郡上長良川 RC50 周年事業メッセージ（テーマ）

共感そして前進 共に感動して共に前に進みましょう

飛翔！更なる 50 —PRIDE & CHALLENGE—（SERVICE） 寺田澄男案

○進め方と大まかなスケジュール

大まかな進め方

- ・2025/11～2026/3 までは原則月 1 回第 1 水曜日、例会場で実行委員会を開催
- ・2026/4～は進み具合で適宜実行委員会を開催する。

大まかなスケジュール

- ・A 案 49 期の後半（2027/4～6） 記念事業実施 50 期の前半（2027/9～11） 記念式典実施
- ・B 案 50 期の前半（2027/9～11） 記念事業実施 50 期の後半（2028/4～6） 記念式典実施

○記念事業

- ・会員アンケートを実施する。
- ・アンケート結果から実行委員会できめていく。

■ニコBOX

ニコBOX委員会 児玉利明君

佐藤備子君 大村さんが元気に復帰されて、嬉しい限りです。

大村太郎君 長い事、例欠席申し訳ありませんでした。大きな手術を 2 回行いました。お陰様で無事元気になりました。後は天命に祈るしかありません。これからは養生しながら出来るだけ出席したいと思いますので、今までどおり、よろしくお願い致します。

藤代昇君 大村さん、お帰りなさい。嬉しいです。

和田良一君 大村さんの元気なお顔に会えて、大変嬉しいです。

畑中知昭君 大和はインフル大流行り、気を付けましょう。

松森正和君 地区大会、お疲れ様でした。楽しかったです。

井俣愛美君 久しぶりの例会です。9 月 4 日に次女も元気な男の子を産んで、無事に 10 月下旬に横浜に送って行って、ホッとしております。

和田智博君 寒くなってきました。体調管理、心掛けましょう。

遠藤正史君 地区大会、楽しませていただきました。

児玉利明君 今日、金融リテラシー教育で、郡上北高の子たちに授業を実施しました。皆さん真面目に聞いてくれました。

北山浩樹君 急に寒くなってきました。昨日より薪ストーブを火入れしました。皆様、体調には気をつけて下さい。

有井弥生君 今日朝日大学で学生向けに講義をしました。しっかり郡上をアピールしてきました。

養島正人君 創立 50 周年を頑張りましょう。

（同文） 山下誠君、石徹白秀也君、杉山賢君

■次週行事予定

11 月 26 日 休会

12 月 3 日 忘年会

■出席報告

出席委員会 養島正人君

回数	会員数	出席者	休会者	補正	出席率
2214 回	30 名	14 名	1 名	6 名	68.97%
2215 回	30 名	18 名	1 名	6 名	82.76%